北海道倶楽部
毎月１回１日発行 定価８０円
公益社団法人北海道倶楽部
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-17-17 北海道東京事務所1 階
TEL 03-3581-4021 FAX 03-3581-4022
E-mail hkkd-clb@soleil.ocn.ne.jp
http://www.hokkaido-c.or.jp/

We Love Hokkaido 北海道 "NOW" KITAKARA

北海道情報紙 知らないこと いっぱい！！

HOKKAIDO CLUB SINCE 1927

100周年機に倶楽部の持続可能性確かに

北海道倶楽部の会長、理事長が3月の定時総会でそれぞれ交代したが、7月号では有末真哉理事長（前副理事長）のあいさつ、抱負を紹介する。



本年3月、大久保尚武氏の後任として理事長に就任いたしました有末真哉です。就任にあたりご挨拶を申し上げます。

北海道倶楽部は来年創設100周年を迎えます。1927年に新渡戸稲造博士らが集まりこの会を発足させて以来、戦争による活動中断期などを乗り越え、100年という歴史を刻み、発展を遂げながら今日に至っています。

100周年という大きな節目に、北海道発展を願う企業や個人の方々よりいただく寄附金を財源とした公益事業を複数年にわたり行ってまいります。創設100周年記念事業の内容としては、記念式典・記念誌発行、歴史展示・記録アーカイブ化、記念講演・シンポジウムの開催や、北海道に縁のある若手人材育成プログラムへの資金援助、道内教育機関と連携した研究支援人材支援といった新たな公益事業などを候補として検討を進めています。趣旨にご賛同いただきご寄附いただいた皆さまの思いをしっかりと受け止めて、北海道発展に貢献できるよう取り組んでまいります。

また、100周年記念事業への取り組みは当倶楽部の認知度を高める絶好の機会であるという点も重要です。新たな事業への取り組みにより活動に共感する層が増えれば入会希望も増加します。会員増による組織拡充は事業領域・規模拡大のチャンスとなり、それが新たな入会や支援者を呼び込むという好循環を生みます。100周年を好機と捉えて、北海道倶楽部の持続可能性を確かなものにする基盤づくりにも力を注いでまいります。

皆さまのご支援を力に、北海道倶楽部の発展に尽力し、北海道振興に寄与してまいる所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

略歴

1958年生まれ。早稲田大学教育学部卒業後、1980年三井生命（現大樹生命）に入社。保険数理を専門に扱うアクチュアリーとして事業統計・生命表・収益管理・商品設計などの業務に携わる。会社生活後半は経営の領域に身を置き、主計部長・企画部長・常務・専務を経て2013年に社長就任。在任中は生保協会副会長、経団連常任幹事などを歴任。取締役会長・顧問を経て2022年に退任。2026年より三機工業社外取締役。

曾祖父有末孫太郎は元屯田兵、大伯父有末精三陸軍中将は元倶楽部会員、自身も中学高校5年間を札幌で過ごすなど北海道に深い縁を持つ。東京都出身。

道内人口5年で24万人も減った！

500万人の大台割れも

25年国調速報値

北海道の人口が5年で24万人も減ったー。道が発表した2025年国勢調査の速報値によると、昨年10月1日現在の道内総人口は498万5419人で、前回調査（20年）の確定値より23万9195人（4・6％）減少、500万人の大台を割り込んだ。減少数、減少率ともに1920年（大正9年）の調査開始以来、最大。札幌市の人口も前回から9361人減の196万4034人で、減少に転じている。

都道府県別の人口規模で北海道は前回8位だったが、福岡県（508万1879人）に抜かれ9位に。1位は東京都で1425万人、2位は神奈川県の919万人、3位は大阪府の876万人だった。前回調査より増えたのは東京都と沖縄県だけ。

道内市町村で減少数が大きかったのは旭川市で、2万3605人減の30万5701人。函館市が2万5586人減の23万4984人、釧路市が1万3751人減の15万1326人と続いた。減少率では夕張市が最大で23・4％減、全国でも4番目の高さだった。

一方、人口が増えたのは、道内では9市町村。リゾート地を抱える上川管内占冠村が1487人（13・9％増）、スキーリゾートの後志管内ニセコ町は5370人（5・8％増）となった。

国勢調査による道内総人口は、1995年の569万2321人をピークに2000年から少子化などの影響で減少している。

北星会優勝は成島さん 北海道北星会は佐藤さん

ゴルフの第223回北星会は5月22日、14人が参加して埼玉県・清澄ゴルフ倶楽部で行われ、成島康之さんがネット73・8（グロス87、ハンデ13・2）で優勝、内閣総理大臣杯を獲得した。

一方、第32回北海道北星会は18人が参加し6月5日、恵庭カントリー倶楽部で開かれ、佐藤信悦さんがネット72・4（グロス82、ハンデ9・6）で優勝に輝いた。

準優勝ー5位は次の通り（敬称略）

北星会 ▽準優勝（北海道知事杯）八木崇文（G94、H18、N76）▽3位（倶楽部会長杯）高木和夫（G104、H27・6、N76・4）4位 寺本将憲（G95、H16・8、N78・2）▽5位 内田臣一（G108、H28・8 N79・2）

北海道北星会 ▽準優勝 岩田徳夫（G94、H20・4、N73・6）▽3位 栗本利郎（G92、H18、N74）▽4位 徳岡俊之（G91、H16・8、N74・2）▽5位 石本孝広（G103、H28・8、N74・2）



北海道北星会優勝の佐藤さん（左）



北星会優勝の成島さん（左）

★北海道倶楽部会報は、北海道新聞社から記事、写真の協力を得て、作成しています。

新入会員 正会員

▼国谷 一彦氏（株式会社安藤・間 代表取締役社長）北海道出身

▼菊地 裕太郎氏（菊地綜合法律事務所 所長 弁護士）北海道伊達市出身

知事エッセー ～空知管内で～



北海道大学発のスタートアップ企業として、令和2年に設立されたこちらの会社は、旧江部乙中学校校舎をリノベーションし、同6年に「Polaris」を開設され、高い推進力や安全性、低コスト化を特徴とした人工衛星用エンジン開発に取り組まれています。

宇宙産業は日本の成長戦略分野に位置づけられ、北海道は関連企業や開発拠点が集積する地域として発展していく大きな可能性を秘めています。平井代表からは、「北海道は実証フィールドとして非常に良い場所。何より地域の皆様にも応援いただいていることに魅力を感じている。」などとの本道のポテンシャルの高さを感じるお話を伺いました。



同社が北海道をフィールドとして、未来を担う成長産業で活躍されていることはとても誇らしく、滝川から宇宙への挑戦が大きな成果を挙げられることを大いに期待しており、道としては、関係する皆様と連携を図りながら、スタートアップの支援や宇宙関連産業の集積など未来への投資に取り組んでまいります。

8月4日（火）に「交流のタベ」 午後6時 銀座ライオン新橋店で

北海道倶楽部恒例の「交流のタベ」が8月4日（火）午後6時から、東京・港区の銀座ライオン新橋店で開かれる。

倶楽部3大イベントの一つで、会員らの親睦、交流が狙い。合わせて北方領土返還など、倶楽部が進めるキャンペーンの推進を呼びかける。

例年通り夕張メロンのお土産付きで、会費は1万5000円。

ふるさとの本ご案内 北海道新聞社



初級者がチャレンジしやすい30コースを紹介！
北海道 Oh! 低山ガイド30
長谷川哲 著
A5判 152頁 定価1980円
樽前山、空沼岳、白雲山、アポイ岳、恵山……。標高が低くても満足度が高い30コースを、思わず歓声が上がるビューポイント、周辺情報とともに紹介。



アクセス情報を更新した第2版
第2版 新 夏山ガイド1 道央
長谷川哲 著
B6判 304頁 定価2860円
藻岩山、恵庭岳、羊蹄山など札幌近郊、支笏湖、ニセコ、積丹半島周辺の47座、約85コースを収録。

北海道新聞社出版センター 〒060-8711 札幌市中央区大通東4丁目1
TEL 011-210-5744 受付 9：30～17：30（土日・祝日を除く） 価格は税込
出版センターにお電話いただければ直接手配もいたします(代引き・送料別途)
お求めは書店 または インターネットで

網走バスで外国人運転手デビュー

道内初、今後も積極的に採用

発車、オーライ！網走バス（網走市）で5月、インドネシア人の運転手がデビューした。外国人労働者の長期的な在留を認める「特定技能制度」を活用した。北海道運輸局によると、同制度を利用した外国人バス運転手の採用は、道内では初めて。道内バス業界も、運転手不足が深刻で、同社は今後もインドネシア出身者を、積極的に採用する考えだ。

初日は女満別空港線に乗務


下車する乗客に笑顔を見せるインドネシア人運転手（北海道新聞社提供）

ハンドルを握ったのは、ジャカルタ出身のウィル・ストロングさん（41）。バス運転手に必要な特定技能1号と、日本語能力の試験に合格した上で、昨年11月、同社に入社。来日後、大型2種免許を取得し、路上教習などをこなした。

運転初日は、網走バスターミナル女満別空港間の空港線で同ターミナル午前8時発の第2便と折り返しの1往復に乗務。さすがに緊張感は隠せなかったものの、慎重な運転と笑顔の接客で無事役割を果たした。

ウィルさんはスクールバスや路線バスも担当する予定で、「多くのお客さまを安全に送り届けたい」と意欲を見せる。

新千歳空港の旅客2600万人超に

新千歳空港の2025年度の旅客数が、国内線、国際線合わせて前年度比4.8％増の2601万5370人に達し、2年連続で過去最高を更新したことが、北海道エアポート（HAP、千歳）のまとめで分かった。堅調な国際線需要が、全体を押し上げた。

それによると、25年度は国内線が2.6％増の2148万7467人、国際線は16・8％増の452万7903人。コロナ禍の収束による、インバウンド（訪日客）の回復が目立った。24年度の国内線・国際線合わせた旅客数は前年度比8.3％増の2482万5918人だった。

HAPは、中国政府による日本への渡航自粛の呼びかけで、中国線の利用者が落ち込んだものの、「他の海外路線が旅客数を下支えした」と分析している。

同制度は2019年に新設され、バスやタクシーなど自動車運送業が24年に追加された。バス業界は全国的に運転手不足に直面、大都市でも路線の縮小、減便が相次いでいる。

同社は「日本人運転手の確保と並行して、今後5年間でインドネシアから25人を採用したい」と話している。

三國シェフ故郷にレストラン開店

「増毛がにぎわうきっかけになれば」

フランス料理のシェフ、三國清三さん（**北海道倶楽部会員**）＝**写真左、北海道新聞社提供**＝が6月2日、故郷の留萌管内増毛町にレストラン「三國本家」を開業した。5月末開かれたプレオープンのイベントでは、同町産甘エビの唐揚げを載せたカレーなどを提供、町民らを喜ばせた。

店舗は2022年に閉店した老舗食堂を継承。同食堂の看板メニューだった、醤油ラーメンなども味わえる。三國さんの店で腕を磨いた渡辺直樹さんが料理長だ。

プレオープンには三國さんも姿を見せ、「今後もたまに店に来たい。増毛がにぎわうきっかけになればうれしい」と話し、来店客となごやかに話すシーンも。

江別市から訪れた会社員は「ラーメンとカレー両方ともおいしかった」と笑顔を見せた。



JR北　鉄道収入過去最高

運賃値上げ　千歳線利用順調などで

26年3月期決算

JR北海道（**北海道倶楽部会員**）の2026年3月期決算は、売上高にあたる営業収入益が前期比1.6％増の1656億円になった。うち鉄道運輸収入は、昨年4月の運賃値上げなどを背景に、5.8％増の811億円となり、1987年の国鉄分割民営化以降で、過去最高を記録した。

最終的なもうけを示す純利益は、66・1％増の76億円。3期連続の黒字を達成した。

鉄道運輸収入が伸びたのは、運賃値上げに加え、新千歳空港を利用する訪日客の増加、プロ野球日本ハム本拠地・エスコンフィールドへの利用客で、千歳線の利用が順調だったことなどが要因だ。

運輸業以外でも、分譲マンションの販売や、ホテルのJRタワーの売り上げなどが堅調に推移し、営業収益1600億円余りを達成した。

営業費用は1.1％増の2064億円。物価高などで費用は前期比で81億円増えた。408億円に上る赤字は、経営安定基金の運用益や国の助成金などで穴埋めし、最終黒字を確保した。

JR北は「経営再生の中、黒字を確保できたことは大変意義がある」と話している。


JR北の特急列車。運賃値上げなどで収入増に

空き家を宿泊所に

エア・ウォーターが上富良野に開設

エア・ウォーター北海道（札幌、**北海道倶楽部会員**）はこのほど、上川管内上富良野町にある、子会社所有の空き家を改修し、簡易宿泊所を開設した。今後の利用状況などを踏まえ、道内での空き家活用の検討を進める考えだ。

簡易宿泊所の名前は「Kamifurano Base」で、同社による宿泊施設は初めて。同社は地域経済の活性化につなげようと、空き家に着目。その第1弾として子会社「エア・ウォーター・ライフソリューション」（札幌）所有の「上富良野サービスセンター」で使われていない、住居部分を宿泊施設に改修した。

木造2階建て（3LDK）で、延べ150平方メートル。キッチンや浴室、洗濯機や乾燥機も完備、最大11人が宿泊できる。料金は1泊5万円ほどだが、時期によって異なるという。

同社によると、オープンから約半年間を実証期間とし、地域経済への波及効果などを調べるという。「関係人口創出は、エネルギー事業の持続性にもつながる。宿泊施設に限定せず、空き家の活用を検討していきたい」と話している。


空き家を改修した宿泊所（北海道新聞社提供）

札幌ドーム稼働率が苦戦

3年ぶりに70％を割る可能性も


稼働率が苦戦する大和ハウスプレミストドーム（北海道新聞社提供）

札幌市の第3セクター札幌ドームが運営する、大和ハウスプレミストドーム（札幌・豊平区）が苦戦を強いられている。4月上旬時点で、本年度の稼働率は64％と低迷、3年ぶりに70％を割り込む可能性も。週末は人気アーティストのコンサートなどでほぼ埋まるものの、問題は平日の稼働率だ。

ドームの稼働率は、プロ野球日本ハムの本拠地だったころは、コロナ禍を除き概ね70％台で推移していた。球団が北広島市のエスコンフィールドに移転して以降も、2023年度こそ62・6％だったが、24年度は70・4％、25年度は71％に回復している。

人気アイドルグループ嵐のコンサートやライオンズクラブの大規模会議など、「大型イベントの利用が好調だった」ことが奏功したという。

ただ、26年度の出足は芳しくない。70％台を見込んでいるものの、大手保険会社が成績優秀者を招待する報奨旅行など、複数のイベントが先方の都合でキャンセルされたことが響いた。

このため、札幌ドームは今後、平日のイベント誘致に力を入れる考え。「70％を上回るよう全力を尽くす」と話している。

北海道新聞社の本

★記者がたどる戦争
◎本連載が日本外国特派員協会「報道の自由賞 日本賞」受賞
北海道新聞社　編　四六判　360頁　定価1980円
戦後80年に合わせた長期連載企画の単行本化。若手を中心にした記者が、肉親などの証言をもとに戦争の実相に迫る。



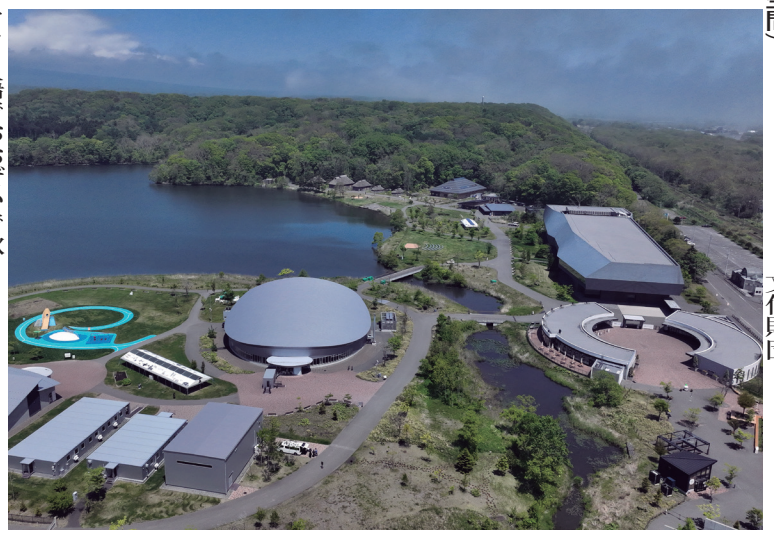
★新夏山ガイド5　道南・胆振
長谷川哲　著　B6判　256頁　定価2640円
道内登山道網羅の定番ガイド。道南エリアは10年ぶりの改訂。白水岳を復活掲載し、七ッ岳、庄司山は新コースを紹介する。胆振地域の山々も収録。

★北海道　大人の日帰りスポット2026―27
花岡俊吾　著　A5変型判・オールカラー　288頁　定価2200円
行ってみたい！北海道各地のおでかけスポット500カ所を紹介。ドライブのお供に最適な一冊。週末のおでかけや旅行の計画にも役立つ情報が満載。

白老町のご紹介
しらおい

「魅力あふれるまち、人も仕事も活力あふれるまち、誰もが幸せ感じるまち 白老町」

観光スポット



○ウポポイ（民族共生象徴空間）
※提供（公財）アイヌ民族文化財団

アイヌ語でおおぜいで歌うことを意味している「ウポポイ」は、アイヌ文化の復興・創造の拠点として2020年に開設されたナショナルセンターです。

敷地内には、伝統的なアイヌ文化のみならず、現代に息づく多様なアイヌ文化とそれにかかわる人々を多彩な展示で紹介している「国立アイヌ民族博物館」があります。さらに、重要無形民俗文化財に登録されているアイヌ古式舞踊や伝統楽器ムックリの演奏が上演される「体験交流ホール」や伝統的なチセ（家屋）を再現したエリアがあり、五感でアイヌ文化を体験・体感できます。



○仙台藩白老元陣屋資料館

元陣屋の全盛期を再現したジオラマや絵図、蝦夷地の地図、武具等、史跡公園に隣接する資料館には約3000点もの歴史的資料を展示しており、仙台藩の元陣屋における12年の歴史に触れることができます。

元陣屋から少し離れた西方の小高い丘の上には、安政3年7月に藩士たちが故郷仙台をしのんで塩釜神社を建立しています。現地から少し離れた場所には、藩士たちの墓標があり、今も大切に保存されており、江戸末期の時代に翻弄された歴史の一部を垣間見ることができます。



○倶多楽（くったら）湖

倶多楽湖は日本でも屈指の透明度をもつカルデラ湖で、過去には水質日本一にもなったことがあります。



○温泉

白老には茶褐色のお湯が特徴の世界的にも珍しい白老モール温泉と、肌に優しく優れた泉質と豊富な湯量が特徴の虎杖浜温泉の2つの温泉があります。虎杖浜温泉は平成24年に「源泉かけ流し宣言」を行いました。日帰り温泉施設も充実しており、観光客はもちろん、地元の方も多く利用します。



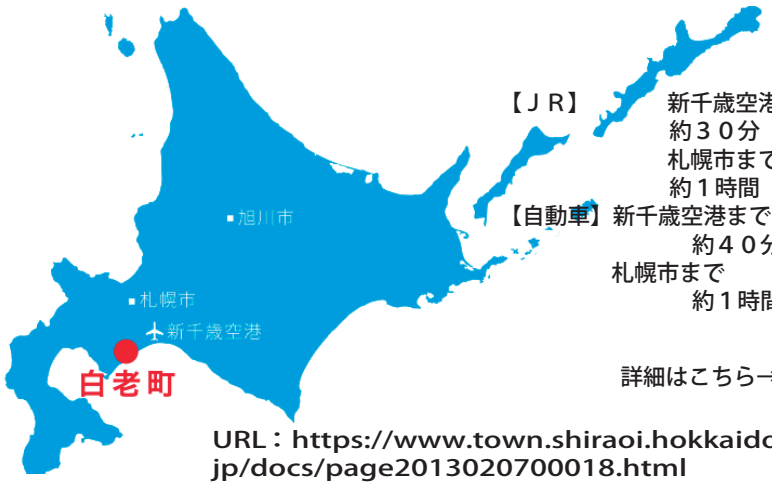
○アヨロ海岸

虎杖浜地区にはアイヌ文化の遺跡が多く発掘され、古代より多くの人が生活した「アヨロ海岸」があります。付近にはポンアヨロ遺跡やアフンルパロなど、古代に暮らした様々な人の痕跡もあり、風景だけではなく、文化的にも貴重な海岸です。

○萩の里自然公園

町のちょうど真ん中に位置に萩の里自然公園があります。公園内には、樽前山や太平洋を一望できる展望デッキや通称「ケネルハウス」と呼ばれるセンターハウスがあり、地元の方の憩いの場、町外からの利用者の自然散策やウォーキングの拠点となっています。春から夏にかけては、林床を彩る色とりどりの花々の観察、秋にはウヨロ川を遡上するサケの見学等、白老の大自然を楽しむことができます。

白老町へのアクセス



【JR】 新千歳空港まで 約30分（特急列車）
札幌市まで 約1時間（特急列車）

【自動車】新千歳空港まで 約40分（道央自動車道）
札幌市まで 約1時間（道央自動車道）

詳細はこちら→

URL：https://www.town.shiraoi.hokkaido.jp/docs/page2013020700018.html

市町村から

白老町は、北海道の南西部、胆振管内のほぼ中央に位置し、南は太平洋、北は千歳市と伊達市、東は苫小牧市、西は登別市に隣接したまちです。地名の由来は、アイヌ語で「虻の多いところ」を指す「シラウオイ」からきたと言われており、先住民族アイヌの文化伝承の地であり、海山の食や豊富な湯量を誇る温泉など、豊かな資源に恵まれたまちです。

主な特産品としては、白老牛、虎杖浜たらこ、毛がに、昆布、ホッキ貝、しいたけ、たまご、ニジマス、アイヌ伝統料理、アイヌ工芸品などがあります。

○イベント情報

・白老牛肉まつり（6月上旬）

初夏に開催される町内最大級のグルメイベントです。白老牛をはじめとして、多彩なお店がならびます。会場には、炭火コンロも用意されていますので、その場で焼いて食べることができます。



・白老八幡神社例大祭（9月下旬）

地元のお祭りとして親しまれており、毎年全道から40チーム以上が参加する「YOSAKOIソーラン踊り」が開催され、札幌の「YOSAKOIソーラン祭り」に次ぐ祭典となっております。露天や本格的なステージがお祭りを盛り上げ、毎年町内外からたくさんの人が訪れます。



・しらおいチェプ祭（10月頃）

アイヌ語で「魚」を意味する「チェプ」の名を冠にしたお祭りは、サケの豊漁と漁の安全、大自然の恵みに感謝するアイヌ民族の催事です。鮭や伝統料理の販売、アイヌ文化の体験、ハルランナ（もちまき）大会やアイヌ語○×クイズなど大人から子どもまで1日中楽しめる様々なイベントを開催します。



・ポロト湖 ワカサギ釣り（1月～2月頃）

全面結氷したポロト湖で行われており、釣り竿やリールなどセットになった道具はもちろん、エサや暖をとるためのテントも完備しております。防寒着さえ着込んでいれば初心者や観光客の方でも手ぶらで気軽に氷上釣りを楽しめます。



移住について

白老町へ移住を考えている方に向けた情報がまとまった、しらおい町移住ポータルサイトでは「住まい」「仕事」「子育て」「おためし暮らし」など、移住に必要な情報を幅広く紹介しています。白老町は、胆振管内のほぼ中央に位置し、海・山・温泉に恵まれた自然豊かなまちです。アイヌ文化復興の拠点であるウポポイをはじめ、温暖で雪の少ない気候や、札幌・新千歳空港へのアクセスの良さも魅力となっております。

特に「おためし暮らし」では、温泉付き住宅に滞在しながら、実際の生活環境を体験することができます。移住前に地域の雰囲気を知りたい方におすすめです。移住相談は、電話やメールで気軽に相談可能です。まずはしらおい町移住ポータルサイトを通して、白老での暮らしをのぞいてみてください。

○白老風移住者交流会

白老町ならではの自然・文化・人の温かさを感じながら、「知り合いをつくりたい」「地域になじみたい」「白老の暮らしをもっと知りたい」という方にぴったりの交流イベントを開催しております。移住して間もない方も白老町へ移住を検討している方も町民の方も参加でき、みんながつながる場の提供を行っております。

開催情報などは白老移住Instagramにて発信しております。

しらおい移住ポータルサイト

白老移住 Instagram

ふるさと納税

白老町では、海あり山ありの豊かな自然の恵みを余すことなく取り入れた海産物や農産物、愛情をかけた白老産黒毛和牛や肉汁溢れる白老牛ハンバーグ、虎杖浜加工の名物たらこ、高品質で赤ちゃんの肌にやさしいベビー用品など、魅力たっぷりの返礼品を数多く取り揃えております。

また、皆さまからのふるさと納税寄附金は、元気な白老の子どもたち（ゲンキッズ）の健全育成、アイヌ文化の伝承その他文化活動、地域産業の振興、協働のまちづくり推進、誰もがキラキラと安心して暮らせる福祉（キラ老い）、住みよい環境づくり、スポーツを支えるまちづくりなど、「ふるさと白老の元気づくり」に大切に活用させていただきます。お申し込みは、「白老町ふるさと納税特設サイト」などから可能です。ぜひ白老町ふるさと納税の応援をお願いいたします。

担当：企画政策課



白老町ふるさと納税特設サイト

※掲載されているイベント情報は諸事情により開催日程の変更、中止の可能性があります。ご了承ください。

●お問い合わせ
白老町役場 〒059－0995 北海道白老郡白老町大町1丁目1番1号
TEL：0144－82－2121 FAX：0144－82－4391
E-mail：jouho@town.shiraoi.hokkaido.jp
公式ホームページ：https://www.town.shiraoi.hokkaido.jp/



２００６年の財政破綻から２０年、夕張市は2027年３月をもって、約３５３億円の負債を償還し、新たな希望をもって街の再生に取り組んでいくこととなります。

本当に多くの皆さまに夕張市を応援していただき心より感謝申し上げます。「財政の再建」を行いながら「地域の再生」を図ることは決して容易なことではありませんが、様々な課題を克服し、夕張市はこれからも一歩ずつ着実に歩みを進めてまいります。

厳しい行財政運営の中、将来を見据えた前向きな取り組みに着手できるのは、皆様からの温かいご支援のおかげです。ご支援いただいた皆さまとの「絆」を大切にして、市民はもちろん夕張にお越しになる方々が笑顔になる明るい街を創ってまいりますので、夕張まで是非とも足をお運び頂けますと幸いです。

ふるさと納税はこちらから





チェック

より幅広く、たくさんの方に夕張の情報をお届けするため、「夕張Likers(※)」公式SNSを運用しています。夕張の「今」や返礼品に関することなど、情報発信を強化しておりますので、是非フォローをお願いいたします。

※夕張市では、夕張に想いを寄せ、多様な関わりを持っていただける人材を関係人口「夕張Likers(ライカーズ)」と定義しています。

夕張 Likers! ライカーズ

交流の夕べのご案内

公益社団法人北海道倶楽部
会長　小林　敬一

拝啓　盛夏の候、益々ご清栄のこととお慶び申上げます。日頃は北海道に温かいご支援を賜り、厚く御礼申上げます。

さて、「北方領土返還運動推進」「地域活性化・ふるさと納税」「北海道新幹線札幌延伸早期実現」キャンペーンを掲げ、北海道を愛する人々が集い、語らう夏恒例の「北海道倶楽部交流の夕べ」開催の季節となりました。昨年同様に福引景品も用意いたします。夕張支援のメロンも付いております。

どうか梅雨明け後の夏の宵を、大いに飲み、食べ、語らって、ご出席各位の交流を通じ、北海道のため役立つよう願っております。併せて、「夕べ」を存分にお楽しみ下さいますようお待ち致しております。

敬具

●日時　2026年８月４日（火）18時から20時
●場所：銀座ライオン　新橋店　※会場が昨年と変更になっています。
　東京都港区新橋１－15－５ペルサ115　3F
　☎０３－３５９１－５５１１
●会費：15,000円（夕張支援メロン付、フリードリンク・料理）
●申込方法（広くどなたでも申し込めます。）
・お申し込みは　７月22日（水）までに本会報に同封の申込用紙で原則ＦＡＸかメールでお願い致します。
・お申し込みを頂きましたら、申込用紙の「御請求書送付先」に会費の御請求書と振込用紙を郵送致します。（事前振込でお願いしております）
　御請求書と振込用紙が不要な場合はお申し出ください。
・郵送でのご案内が届いている方はそちらもご使用ください。（重複申込可）
　23日以降のお申し込みは事務局までお問い合わせください。





【連絡先】　公益社団法人北海道倶楽部事務局　FAX　０３－３５８１－４０２２
Mail　hkkd-clb@soleil.ocn.ne.jp

釧路に女性だけのロータリークラブ

医師や主婦ら10人、昨年9月設立

講演会開催など奉仕活動を開始

道内では唯一、全国でも珍しい女性だけで組織するロータリークラブが、釧路市にある。従来のクラブが男性中心とされる中、女性医師や会社員、主婦ら10人が昨年9月に立ち上げた。早速、女子アスリートの健康課題をテーマに初の講演会を開くなど、「女性による女性のための奉仕活動」を本格化させている。



女性だけの釧路北ルミナスロータリー衛星クラブ（北海道新聞社提供）

クラブ名は「釧路北ルミナスロータリー衛星クラブ」。現在、議長を務める同市の皮膚科専門医、足立柳理さんが中心となって設立した。

道内東部を管轄するロータリークラブ「第2500地区」の男性ガバナーから、「会員が男性中心な分、奉仕活動も男性視点に偏っている。釧路では女性の会をつくってみませんか」と、提案されたのがきっかけだった。

足立さんの周りで女性医師や女性経営者が増え、地域で活動の場が広がっていることも、設立への決断を後押ししたという。

5月、クラブ初の「事業」として女子アスリートをテーマにした講演会を選んだのは、「体の問題を相談しづらい」との声があったからだ。スポーツ指導者も男性中心で、成長期の女子選手が無月経など悩みを抱えても、周囲に打ち明けにくいケースが少なくない。

クラブは今後、女性の社会参加をテーマにした活動も検討している。土地家屋調査士の会員は「地方では女性が長く働ける職場が少ない。若い女性が視野を広げ、地域で力を発揮できるきっかけをつくりたい」と目を輝かせた。

札幌市営地下鉄 25年度の乗客約2.4億人に

札幌市営地下鉄の2025年度の年間乗客数は、前年度比4.2％増の2億3957万人で、1971年度の開業以来、最多となった。駅周辺の再開発などで、通勤客や観光客の利用が増えたためと見られる。

市交通局のまとめによると、1日当たりの平均乗客数は65万6374人。これまでの年間乗客数の最多は24年度の2億2987万人で、1000万人弱上回った。

路線別の1日平均乗客数は東西線が25万9389人でトップ。南北線が24万3497人、東豊線が15万3488人と続いた。乗車駅別の増加率は、東西線西11丁目（前年比8.8％増）、東豊線豊平公園（同8％増）、東西線バスセンター前（同1.1％増）、南北線すすきの（同6.4％増）ーなどが目立った。

地下鉄は冬季間、大雪に強いなどの利便性から、駅周辺でマンション建設が進み、沿線人口が増えたことなどが利用者増につながった要因だ。また、市中心部で相次いだホテル開業も、訪日客を含む観光客の地下鉄利用を後押しした。

これに伴い25年度の乗車料収入も、過去最高だった24年度の443億8300万円を上回るのがほぼ確実だ。市交通局は「多くの利用があったのはありがたい。今後も快適で安全な運行を心がける」と話している。



2025年度、2億4000万人が利用した札幌市営地下鉄（北海道新聞社提供）

北島三郎さんに特別功労賞 演歌、歌謡曲で多大な功績

歌手の北島三郎さん（渡島管内知内町出身、北海道倶楽部会員）に、国内最大規模の国際音楽賞「ミュージック・アワーズ・ジャパン2026」演歌・歌謡曲部門の特別功労賞が贈られた。

音楽賞は、日本の音楽を海外に発信しようと日本レコード協会など音楽業界の主要5団体が創設し、今年で2回目。北島さんはこれまでに「函館の女」や「まつり」などヒット曲を連発、日本の演歌、歌謡界をけん引してきた。

都内で6月行われた音楽賞関連ライブで、北島さんは「まつり」を熱唱。「歩き続けて間もなく90年。この道は1本、一筋だ。大勢の皆さんにご支援をいただいた」と感謝した。

加藤登紀子さん校歌を制作

羅臼の小学校と幼稚園



昭和40年代、大ヒットした「知床旅情」で知られる、歌手の加藤登紀子さん＝写真＝が、4月の統合で誕生した根室管内羅臼町の知床未来小の校歌と、知床未来幼稚園の園歌を作詞、作曲した。6月30日の開校、開園式で披露される運びで、加藤さんは「子どもたちに元気いっぱいで歌ってほしい」と話している。

知床未来小は、春松、羅臼の両校と、知床未来幼稚園は春松、羅臼の両幼稚園が統合して発足。知床を一躍有名にした加藤さんと町は交流があったことから、湊屋稔町長が昨年4月、校歌の作詞作曲を依頼した。

加藤さんは「羅臼は大好きな町でうれしい」と引き受け、同5月には曲作りのため来町。統合前の2小学校で児童から町の魅力を取材するなどして、作品を仕上げた。

今年1月、校歌と園歌の音声データと楽譜が町に届き、4月の入学式、入園式でそれぞれ職員らが斉唱。湊屋町長は「羅臼の子どもたちの思いがくみ取られた曲になった」と喜んでいる。

加藤さんはこれまでに、全国各地の校歌を8曲手掛けているという。

最北の豊富温泉郷が一世紀

最北の温泉郷、宗谷管内豊富町の豊富温泉が5月、開湯100年を迎えた。「皮膚疾患に効能がある」などと評判が高く、全国から湯治客が訪れる人気ぶりだ。

同温泉は1926年（大正15年）、石油を掘削していた井戸から温泉が湧出したのが始まりだ。

油分を含む黒い湯が特徴で、アトピー性皮膚炎や乾癬などに効く。

5月16日に開かれた記念式典には、関係者40人が参加。「先人が100年守り続けてきたことに感謝するとともに、誇りある温泉として未来に引き継いでいく」と、さらなる発展を誓った。

湯治を機に岡山市から同町に移住したパート職員は「思い出に残る時間を過ごした。豊富温泉をずっと守っていきたい」。

老舗旅館の3代目社長は「歴史が浅い北海道で100年続いているのはすごいこと。温泉も旅館も湯治のお客さんにお世話になって、ここまで続いてきた。次の100年に向けての素晴らしい通過点にしたい」と話した。


湯治客に人気の豊富温泉（豊富町観光協会提供）

皮膚病に効能 全国から湯治客

北斗声

▼信号無視、歩道上の高速走行などなど…。交通ルール無視が「限界を超えた」とされた、自転車の違反に交通違反切符（青切符）制度が導入され、3カ月がたった。わが街、横浜・戸塚でも「自転車のマナーが次第に良くなってきている」と肌で感じている。

▼同制度は、113種の違反に対し、3000円～1万2000円の反則金を科す。現金なもので、お金を取られるとなると「効果はてきめん」。みなさん、ヘルメット姿が増え、走行中の車の直前横断など危険な運転も随分減ってきた。

▼それでも、なお違反はなくならない。道内では4月1日の導入から1カ月間で36件の違反が摘発された。道警によると、内訳は「ながらスマホ」が23件、信号無視5件、壊れた自転車での走行が3件など。最も危険で悪質とされる、「ながらスマホ」が断トツだった。

▼「スマホ使用中は歩行者を注視する時間が通常の23％に減り、歩行者の見落としが約5.5倍に増える」とのデータもあるそうだ。道警は「認知や判断の遅れを招く危険な行為」と警告する。

▼さて、本日のJR戸塚駅周辺は。時折、そこのけそこのけと言わんばかりに、ママチャリが歩道上を突っ走る。やはりまだまだか？ （北）



あつま 厚真町のご紹介

「田園の風が誘う　挑戦と誇りを育むまち、あつま」

観光スポット



○北海道屈指のサーフタウン・浜厚真海岸の魅力

厚真町は北海道の南西部、胆振地方に位置し、豊かな自然と穏やかな気候に育まれたまちです。なかでも太平洋に面した「浜厚真海岸」は、北海道屈指のサーフスポットとして全国的にその名が知られています。

「サーフタウン」として、その唯一無二の魅力を発信し続けています。

この海岸の最大の魅力は、年間を通して安定した波が打ち寄せる優れた波質にあります。その質の高さから、国内最高峰のプロサーフィン大会が開催される舞台としても選ばれており、初心者から上級者まで、年間約6万人ものサーファーがこの波を求めて全国から訪れます。

また、海岸線から望む雄大な夕陽は圧巻で、波音と共に心癒やされる至福の時間を演出します。夏の時期には、砂浜を舞台に「浜厚真ビーチサイドフェスタ」などのイベントも開催され、サーファーのみならず家族連れや観光客で賑わいを見せます。

単なるスポーツの場にとどまらず、美しい景観と地域交流の拠点として進化を続ける浜厚真海岸。厚真町



○こぶしの湯あつまで心身をリフレッシュ

町の中心部に位置する「こぶしの湯あつま」は、ラドン泉や露天風呂を楽しめる日帰り入浴施設です。

営業時間は10時から22時まで、料金は大人530円、小学生270円、幼児無料とリーズナブルです。大浴場のほか、露天風呂やサウナも完備し、四季の自然を感じながら入浴できます。

施設内のレストランでは、地元食材を使った「あつま豚丼」やジンギスカン定食が人気で、夏季にはバーベキューも楽しめます。

○日本一のハスカップの里

厚真町は、ハスカップの栽培面積において「日本一」を誇る、まさにハスカップの聖地です。その歴史は約40年前に遡り、原野に自生していたハスカップを大切に移植・栽培したことから始まりました。先人たちのたゆまぬ努力とこの土地の豊かな環境が、現在では地域全体を巻き込んだ一大産業へと発展しました。

毎年6月下旬から7月中旬にかけて迎える収穫期には、町内の各農園が活気づきます。完熟した果実は、甘みと酸味のバランスが絶妙で、一口食べれば爽やかな風味が口いっぱいに広がります。



町内の観光農園では、一般の方でも気軽に楽しめる摘み取り体験が人気で、完熟したばかりのフレッシュな実をその場で味わう贅沢は、旬の季節ならではの醍醐味です。

さらに、ハスカップは、古くから栄養価の高さが知られる「不老長寿の実」です。ビタミンやポリフェノール、鉄分をバランスよく含み、現代人の疲れのケアや、若々しい毎日を目指す人に注目されています。健康と美容を気遣う方々に最適な特産品として、厚真町から全国へ、その価値を発信し続けています。



○歴史を感じる古民家

厚真町は、北海道開拓の歴史を刻む「古民家」を、過去の遺物ではなく「持続可能な地域資源」として再生する先駆的な取り組みを行っています。明治から昭和初期、全国各地の様式で建てられた町内の古民家は、開拓の歴史を物語る貴重な遺産です。

町は有識者や民間と連携し、全町調査を経て行政主導で再生事業を推進。歴史的価値の継承のみならず、パン屋、レストラン、ホテルといった民間利活用による地域経済の活性化を実現しました。震災を乗り越え、地域の誇りと魅力を次世代へ手渡す厚真町の古民家再生は、地方創生の新たな希望となっています。



○大自然と深呼吸する、特別な場所「大沼キャンプベース」

厚真町の豊かな自然に抱かれた「大沼キャンプベース」は、日常の喧騒から離れ、ありのままの自分に戻れる場所です。静寂な湖畔のそばで、四季折々の表情を見せる森の空気を胸いっぱいに吸い込めば、都会では味わえない深い安らぎが訪れます。キャンプ初心者から熟練のキャンパーまで、誰をも温かく迎え入れる広大なフィールド。夜には見上げるような満天の星が広がり、焚き火のパチパチという音だけが響く贅沢な時間が流れます。ただそこにいるだけで満たされる、そんな心豊かなひとときを過ごしてみませんか。厚真の大地が織りなす、あなただけの特別なアウトドア体験がここにはあります

厚真町へのアクセス

URL：https://www.town.atsuma.lg.jp/page/1077.html

QR コードは
こちら→



飛行機＜新千歳空港まで＞

仙台空港から	約1時間15分
東京（羽田空港）から	約1時間30分
名古屋（中部国際空港）から	約1時間40分
大阪（関西国際空港）から	約1時間50分
福岡空港から	約2時間10分

自動車

札幌市から	65km　約1時間20分
新千歳空港から	29km　約35分
苫小牧市から	34km　約40分
苫小牧東港（周文埠頭）フェリーターミナルから	16km　約25分

バス

千歳駅から	約1時間
南千歳駅から	約50分
新千歳空港から	約47分
苫小牧駅から	約1時間
早来駅から	約16分
鵡川駅から	約30分
温分駅から	約38分

お問い合わせ　（株）あつまバス TEL：0145-27-2311

フェリー＜苫小牧東港（周文埠頭）まで＞

秋田から	約10時間
新潟から	約18時間（秋田経由）
敦賀から	約19時間（直行） 約32時間（新潟・秋田経由）

お問い合わせ　新日本海フェリー苫小牧東港フェリーターミナル
TEL：0145-28-2000（旅客）　TEL：0145-28-3200（貨物）

市町村から

○厚真町最大のイベント「あつま田舎まつり」

毎年6月下旬に開催される「あつま田舎まつり」は、50年以上の歴史を誇る厚真町最大級の夏の風物詩です。2日間にわたる祭りは活気に満ち、初日は音頭パレードやステージイベントが会場を盛り上げ、夜には約1000発の花火が夜空を彩ります。2日目は多彩なステージに加え、多数の屋台が出店。特に炭とコンロが貸出される名物「草原焼き（ジンギスカン）」は手ぶらで楽しめる人気コンテンツです。子ども向けアトラクションや特産品販売もあり、家族連れで1日中満喫できます。町民と観光客が一体となって楽しむ、厚真の魅力が詰まった熱い夏の一大イベントです。



○冬の風物詩「スターフェスタinあつま」

毎年2月には、「スターフェスタinあつま・ランタン祭り」が開催されます。こぶしの湯あつまを会場に、花火大会、約4000個のランタン点灯が行われます。雪原に浮かぶ幻想的なランタンの光と、冬の夜空を彩る約1000発の花火は、訪れる人々を魅了します。会場ではジンギスカン「ランタン焼き」やお菓子つかみ取りなども楽しめます。



○「人が人を呼ぶ」好循環をつくる～人口4200人の町・厚真町が挑む、持続可能なまちづくり～

人口減少や少子高齢化という全国共通の課題に対し、厚真町が導き出した答えは「人口規模を追うのではなく、地域の『質』を高めること」でした。この方針を体現する中核的な取り組みが、今年で10年目を迎える「厚真町ローカルベンチャースクール」です。

地方における起業支援といえば、「雇用創出」や「空き店舗活用」などの数値目標が先行しがちです。しかし、厚真町が目指すのはその先です。地域の課題を「誰かが解決してくれるもの」として放置するのではなく、個人の知恵と情熱を「事業」として実装し、利益と社会的価値を両立させる。

そうして、地域に必要な機能を自律的な仕組みで維持していくことこそが、本プログラムの真の狙いです。

ローカルベンチャースクールの特筆すべき点は、単なる起業家選抜の場にとどまらない点にあります。審査員には行政、金融機関、地域事業者、起業家など多分野のメンターが集い、挑戦者と膝を突き合わせて対話を重ねます。採択・不採択という枠組みを超え、すべての対話が挑戦者にとっての宝となるような場作りが行われています。

スタートから10年。本プログラムからは既に20名以上の起業家が誕生し、厚真町の風景を少しずつ塗り替えています。かつてなかったビジネスや、新しい人の流れ、多様な文化が芽生え、町には「新しいことに挑戦してもいいんだ」という空気が浸透しつつあります。厚真町には、決して大きくはないけれど、暮らしの手触りを感じられる豊かな資産があります。ここでの挑戦は、市場規模や資金調達といったハードルを、顔の見える関係性と地域の温かさで乗り越えていくプロセスです。厚真町は、そんな挑戦者たちの夢と想いを共有し、ともに事業を育てるパートナーであり続けます。人口減少を悲観するのではなく、自分たちが望む未来を自分たちの手で作り上げる。そんな「地域の自走」に向けた挑戦は、今も厚真町の各地で続いています。





移住等について

○「二地域居住」が切り拓く、厚真町の次なるステージ

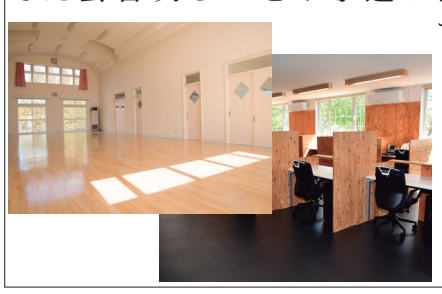
ローカルベンチャーで培った確かな土壌を礎に、厚真町は今、「二地域居住」の推進という新たな挑戦へと歩みを進めています。これは単なる都市と地方の往来にとどまりません。町での労働・消費・投資を通じて地域を支える人々を「活躍人口」と定義し、彼らと共に持続可能なまちづくりを追求する試みです。

本取り組みは、関係人口の創出や担い手確保といった効果に加え、災害時のリスク分散など、多様化する現代の暮らしと働き方への解となるものです。この推進において最大の磁力となっているのは、これまで厚真町に集い、根を下ろしてきた「多様で多彩な人材」です。さらに、副業人材をはじめとする外部の知見を積極的に受け入れ、行政課題の解決に活かすことで、「人が人を呼ぶ」好循環が町全体に広がっています。

この流れを確実なものにするため、令和8年度には民間との共同出資による「（仮称）まちづくり会社」を設立予定です。新会社は、二地域居住希望者の窓口業務から関連施設の運営、空き家活用までを一手に担い、行政と民間がシームレスに連携できる体制を構築します。

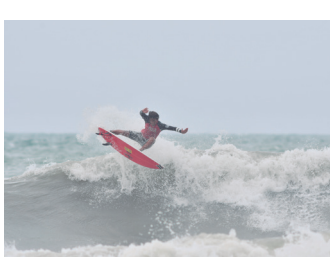
私たちが何気なく過ごしている日々の風景や、一次産業の営み、そして挑戦者たちの熱気。これらは都会の人々にとって、かけがえのない「価値ある素材」です。それらをビジネスへと昇華させることで、地域課題を解決し、未来へとつなぐ循環を作ります。

「人が減るから縮む」のではなく、自分たちが望む未来を、多様な人々との関わりの中で形にしていく。厚真町はこれからも、変化を恐れず、むしろ楽しむ心で、しなやかに進化するまちづくりを続けていきます。



ふるさと納税

厚真町のふるさと納税は、返礼品を通じて寄付者の想いを地域課題の解決や未来創造へと直接つなぐ「プロジェクト型」の取り組みを推進しています。具体的には、開拓の歴史を刻む古民家を現代の息吹で再生する「歴史継承」、ビジネスの手法で地域課題に挑む挑戦者を育成する「ローカルベンチャー支援」、都市と地方を往来する新たな生き方を支える「二地域居住・活躍人口の創出」、そして港湾エリアの潜在力を引き出す「臨海ゾーン開発」など、多岐にわたる事業を展開しています。これらはすべて、地域の自走を見据えた未来への投資です。厚真町で生まれる新しい価値や循環を支えるパートナーとして、あなたの想いをぜひ町の未来へ託してください。





※掲載されているイベント情報は諸事情により開催日程の変更、中止の可能性があります。ご了承ください。

●お問い合わせ　厚真町役場まちづくり推進課
〒059－1692　北海道勇払郡厚真町京町120番地
TEL：0145－27－3179　FAX：0145－27－2328
E-mail：kikaku@town.atsuma.lg.jp
公式ホームページ：https://www.town.atsuma.lg.jp/